

令和元年度「山形学」講座 第3回目が終了しました！

今年度の「山形学」のテーマは「みやびとあそびの山形」。第3回目は「まう・うつす」と題して、酒田市芸術文化協会会長の工藤幸治氏を講師にお迎えし、「山形学」企画委員の小林好雄氏をコーディネーターに、酒田市の土門拳記念館と相馬樓を巡る現地学習を開催しました。

工藤幸治氏には、「湊町酒田の芸術文化」と題して、北前船により上方の文化が伝わり花開いた酒田の芸術文化の歴史や地域の祭りは地域の文化・芸術・伝統を集約したものであること、鑑賞も大切な芸術文化活動であることなどを、貴重な古文書や着物などの解説も交えお話くださいました。

最初の見学先である土門拳記念館は、土門拳が全作品を酒田市に寄贈し作られた日本初の写真美術館で、今回特別にバックヤード（収蔵庫）も見学をさせていただきました。大竹事務局長より収蔵作品の保管・活用方法や建物の魅力などもご説明いただきました。土門拳の写真のほか、親交のあった芸術家たちの作品などから現代の芸術文化を感じることができました。

次の見学先である相馬樓は、江戸時代より開業していた「相馬屋」を修復した建物。相馬屋ゆかりの画家・竹久夢二の作品の他、今も残る土蔵には雛人形や古美術品が展示されており、趣のある木造の建物に随所に意匠が凝らされ、江戸時代の華やかな料亭文化を彷彿とさせる空間が息づいていました。女将の渋谷さんからの館内の見どころ解説のほか舞娘さんの踊りを楽しみ、舟運で繁栄したかつての栄華に思いを馳せ、湊酒田の芸術文化の理解を深めた、大変有意義な現地学習となりました。

### 第3回「まう・うつす」

講 師：工藤幸治氏（酒田市芸術文化協会会長）

コーディネーター：小林好雄氏（「山形学」企画委員）

場 所：講座会場…かんぼの宿酒田

見学先…… 土門拳記念館、相馬樓

日 時：令和元年9月8日（日）9：00～17：15

参加者：75名



☆令和元年度「山形学」フォーラム及び講座は、全講座終了後に内容をまとめ、講座録“遊学館ボックス”として発刊いたします。これまでの講座も冊子にしており、販売しておりますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。